

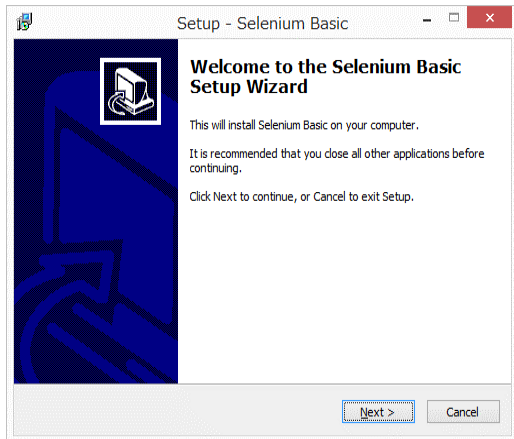
取扱説明書

1. Selenium Basic のインストール

- SeleniumBasic-2.0.9.0.exeをダウンロード

<https://github.com/florentbr/SeleniumBasic/releases>

- SeleniumBasic-2.0.9.0.exeを実行



注：配布パックには以下バージョンが添付してあります

- SeleniumBasic-2.0.9.0.exe
- chromedriver.exe バージョン: 81.0.4044.138 (Official Build) (64 ビット)
- MicrosoftWebDriver.exe バージョン 81.0.416.72 (公式ビルド) (64 ビット)
- iedriver.exe

インストール環境に合わない場合は以下ダウンロード後

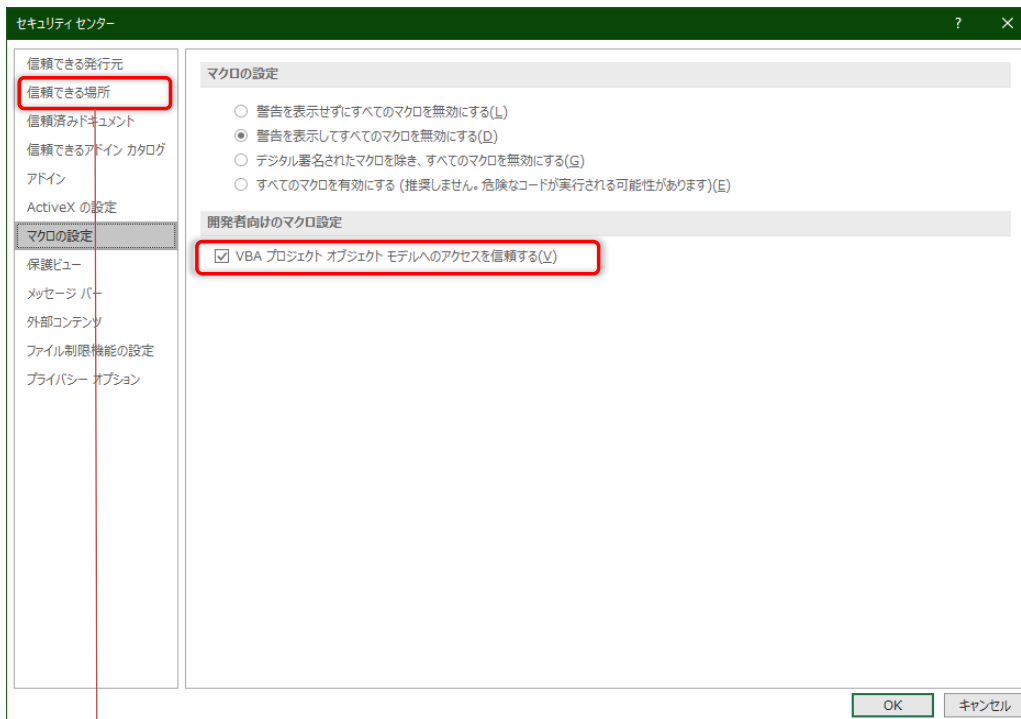
↓へ保存してください。

<C:\Users\ユーザー\AppData\Local\SeleniumBasic>

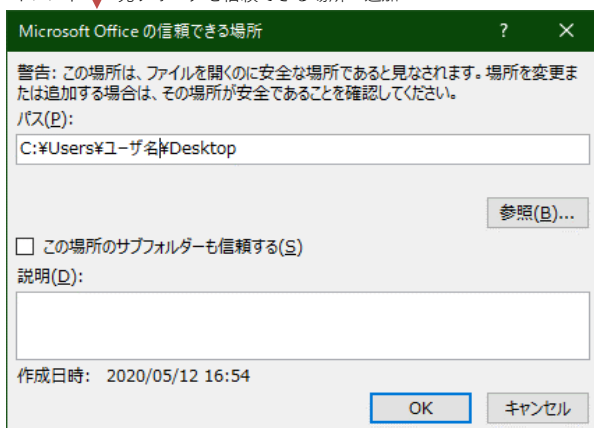
2. セキュリティセンターの設定

開発メニュー → マクロのセキュリティ → セキュリティ センター

VBA プロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する をチェック



インストール先フォルダを信頼できる場所へ追加



3. 最新版Chrome WEB Driver の上書き保存

- chromedriver.exe をダウンロード
<http://chromedriver.chromium.org/downloads>
- chromedriver.exe を以下フォルダーへ上書き保存
<C:\Users\ユーザー名\AppData\Local\SeleniumBasic>
- Chromeのバージョン確認方法
chrome://settings/help

4. 最新版Edge Driver の上書き保存

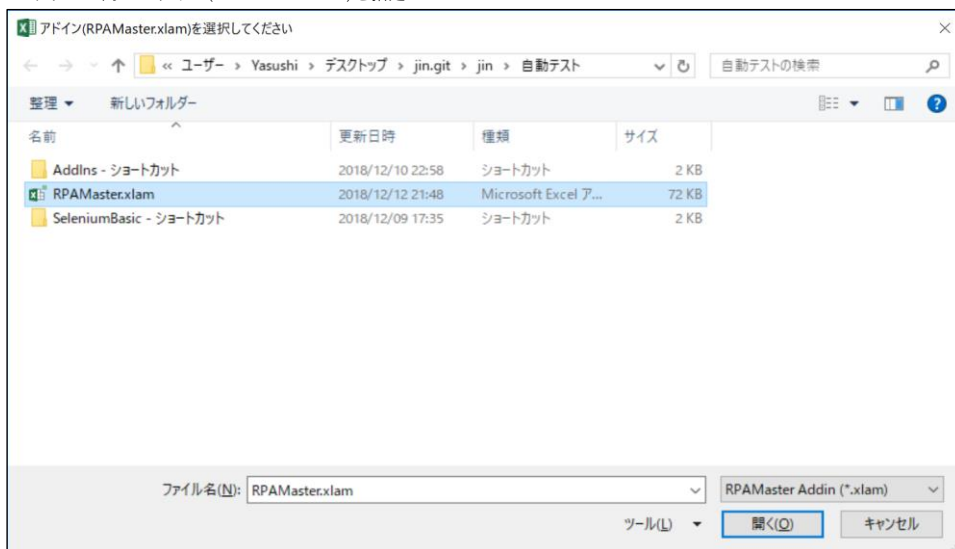
- MicrosoftWebDriver.exe をダウンロード
<https://developer.microsoft.com/en-us/microsoft-edge/tools/webdriver/>
- MicrosoftWebDriver.exe をedgedriver.exe へ名前を変えて以下フォルダーへ上書き保存
<C:\Users\ユーザー名\AppData\Local\SeleniumBasic>
- edge (Chromium) のバージョン確認方法
edge://settings/help

5. アドインをインストール

RPAMasterを起動し、メッセージに従ってアドインをインストール



- パッケージ内のアドイン(RPAMaster.xlam)を指定



6. サンプルテストケースと使用方法を参考にテストケースを作成

7. 実行ボタン押下

選択列に○があるコマンドを実行します

実行したいコマンドのセルを（複数）選択後「Ctrl-q」キーインでも個別で実行できますので、確認したい箇所のみ単独でテストできます

8. 補助ツール

- マウス座標取得
マウスを制御するための画面上の座標を取得できます
- ウィンドウ一覧
ウィンドウを選択（フォーカス）するために指定する画面名の一覧を取得できます

9. コマンドサンプル

・ 外部アプリの起動	外部マクロ起動サンプル	シートを参照してください
・ キーの送信	Windowsサンプル	シートを参照してください
・ Excelの制御	Windowsサンプル	シートを参照してください
・ ウィンドウのフォーカス取得	Windowsサンプル	シートを参照してください
・ ブラウザの起動	WEBサンプル	シートを参照してください
・ 要素の取得	WEBサンプル	シートを参照してください
・ 要素の制御	WEBサンプル	シートを参照してください

10. 付属ツール

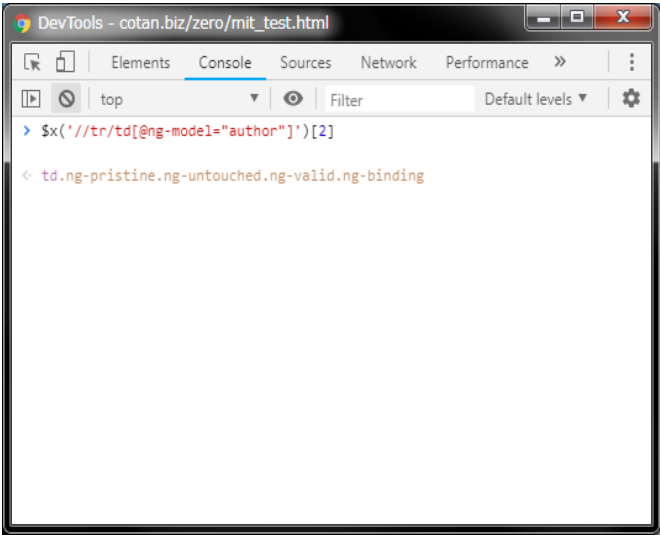
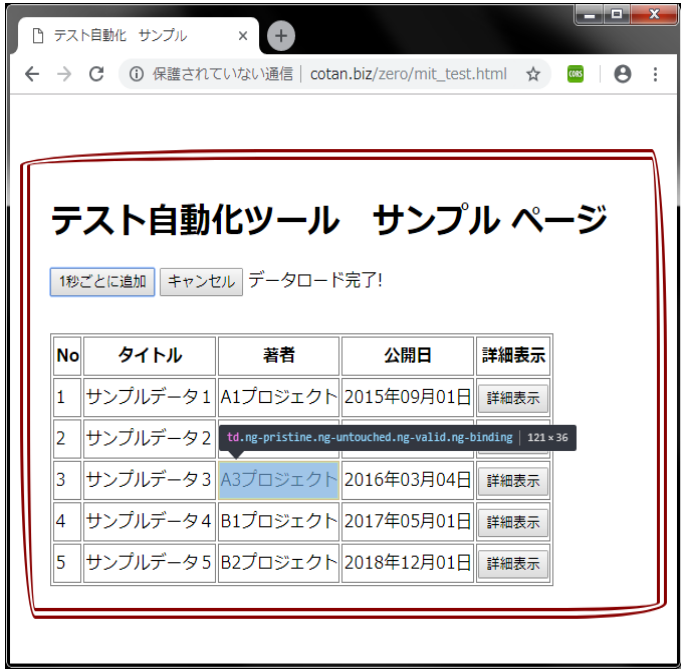
- ・ ウィンドウ名一覧取得
現在表示中のウィンドウ一覧と表示位置が取得できます。
- ・ マウス位置取得
マウス操作を行う場合に必要な座標を取得できます。

11. テクニック

- ・ 表示するウィンドウサイズと位置の指定
作業前に試験用ウィンドウを試験したい位置に試験したいサイズで表示しておき
ウィンドウ名一覧取得ツールで取得したLEFT, TOP, BOTTOM, RIGHTをコマンドの引数2として設定します。

シナリオ	コマンド	引数1	引数2	引数3
ノートパッド起動 (Window位置、サイズ指定)	exe	notepad.exe	1048,70,688,1805	9176

- ・ フォーカスするウィンドウの指定
exeコマンドで起動したウィンドウのウィンドウ番号が引数3に自動で設定されるので、この値を指定します。
act 9176
- ・ Xpathの確認
Chromeのデベロッパーツール (F12キー押下)で確認します。



12. マクロの使用

アドインのマクロを利用するには以下のようにVBAから呼び出します
アドイン呼び出し (機能名, Optional 引数 As Variant)
利用可能機能
 ウィンドウ一覧
 GetMousePos
 解析
 スピード設定
その他、独自のマクロは自由に使用できます。

13. お問い合わせ

WebサイトURL : <https://rpmaster.biz/>